

(別紙4(2))

事業所名 グループホームほほえみ

## 目標達成計画

作成日: 令和2年 3月 21日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向け取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】				
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間
1	36	個人情報に関してご家族様と書類を交わしているが、肖像権や救急搬送の際の延命措置などについては、含まれていない。	個人情報についての書類に、追加事項を記し、ご家族様に署名、捺印いただく。	代表などと話し合い、個人情報について追加が必要とされる事項を決め、現在の書類に追記する。ご家族様に説明し承諾いただいたうえで署名、捺印いただく。 1ヶ月
2	6	身体拘束委員会の議事録を作成し、全職員で内容を共有しているが、職員周知が徹底で来ていることを記す、供覧印がない。また、指針につきする事項もある。	身体拘束廃止委員会の議事録の余白に、供覧印を押印する欄を作成する。指針については、追記し最新の応報で整えておく。	身体拘束廃止委員会の議事録については、文書の下余白に、押印欄を作成し、明確な供覧文書とする。指針については、速やかに追記し最新の情報を記す。 1ヶ月
3	35	非常災害時、事業所が倒壊しない限りは、事業所内で待機し、なおかつ避難場所として地域住民の受け入れを行うとしているが、それに対して備蓄品が少ない。	買い足しを行い、万が一の時に備え十分な量を備蓄する。また、ローリングストック法にて、消費と追加を上手に行い無駄のないようにする。	備蓄品のチェックリストを作成し、何が足りないのかや消費期限を明確にする。数が足りないものは迅速に買い足し、ローリングストック法にて、消費しながら備蓄していくことを実践する。 1ヶ月
4	1	理念について職員全員の理解と浸透、実践を行っているが、始業時に理念を唱和し取り込むことで、気持ちの切り替えもでき、より良いケアができるのではないかと。	始業時に理念を取り込むように心がけ、1日1日のケアを理念に基づいたものにしたい。	始業時間が違うため始業時の唱和はできないので、毎朝職員が個々に理念の確認を行い意識の向上と継続を図りたい。そのため、現在玄関のみに掲示している理念を、職員のロッカールームにも掲示する。 1ヶ月
5	10	ご家族様には、写真付きのお手紙で利用者様の様子を送っているが、感覚が空いてしまっている。	月に1度は発信したい。	お手紙の作成方法を工夫し、毎月お送りできるよう努力する。また、ご兄弟などで複数枚欲しい方もいると思うので、お声がけを行い改善していきたい。 1ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。